

ボランティア地域デビュー講座 第2弾～知覚障害者の理解～

日 時 平成30年3月20日（火）10:00～12:00  
場 所 社会福祉法人 愛光 会議室2階  
内 容 視覚障害について、体験しながら学びます。  
対 象 佐倉市在住、在勤、在学の方  
主 催 佐倉市南部地域福祉センター・南部ボランティアセンター  
お申込み・お問い合わせ先：佐倉市南部地域福祉センター ☎043-486-5151

第26回朗読のつどい

日時 平成30年3月23日（金）2回公演 ■入場無料  
場所 ミレニアムセンター佐倉 2Fホール  
内容 第1回 北総四都市江戸紀行 開場 9:30 開演10:00  
第2回 『花』田宮虎彦著 開場 13:30 開演14:00  
お問い合わせ先：朗読サロン「こおろぎの輪」☎043-484-1284（内田）

平成30年度市民協働事業（市民提案型）募集

- 対象事業 団体が自主的・主体的に取り組む事業で、かつ地域の活性化や、地域の課題解決が図られる事業
- 対象団体 市民が中心となって構成された10名以上の団体  
（申請には市民協働の推進に関する条例に基づく団体登録が必須です。）
- 助成金額 事業費の1/2以内（上限50万円）  
（活動の人件費、食糧費、団体の運営経費などは対象外）
- 受付期間 平成30年4月1日（日）～5月15日（火）
- 選考方法 書類及びプレゼンによる審査を行います。
- 申込方法 申請用紙に必要事項を記入し、自治人権推進課（市役所4号館3階）まで持参（※）または郵送  
※窓口受付時間：土日祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで

# まちづくり

平成29年度「市民活動団体」のご紹介





「佐倉地域文庫連絡会」は、1978年に発足。千成やユウカリ、西志津地区など、市内7つの文庫との連携のもと、より良い読書環境を届けることを目的に約50名で活動しており、今年で設立40年を迎えます。活動の柱の一つとして、約15年前から、毎月10日の金毘羅様の縁日におはなし会を開催しています。



佐倉地域文庫連絡会 内藤達子会長

「金毘羅おはなし会」では、各地の文庫と個人会員のメンバー約10名が中心となり、佐倉市立美術館4階ホールで、午前中に2回公演を行っています。

1月の初金毘羅にあたるこの日は、1部・2部あわせて17冊の本を紹介。プログラム作りには、事前にメンバー各自で本を持ち寄り、毎回約50冊に及ぶ候補から選定し、読み合わせを経て本番に臨みます。幅広い年齢層が訪れる「金毘羅おはなし会」では、大人も楽しめることも重視していますが、当日の参加者の顔ぶれにより演目を変えることもあり、経験豊かなメンバーでも気を抜けないライブ感を味わえるのが醍醐味です。

この日は約60名の参加があり、「おおさむ こさむ」や「おもち！」など、冬の絵本を始め、立ちのぼる様々な湯気を写真で綴った科学絵本など、大人でも興味深い本が読まれました。子ども達は真剣な眼差しで絵本を見つめ、時には絵本の前まで駆け寄り指さして歓喜するなど、様々な反応を見せます。上野の赤ちゃんパンダ公開に伴い選んだ絵本「パンダおやこたいそう」の読み聞かせでは、親子パンダが色々なポーズで体操する場面が描かれており、実際に参加した親子が絵本の内容に沿ってスキンシップをはかり、子ども達は大喜びでした。また、読み聞かせの合間に手遊びを入れるなど、子ども達を飽きさせません。1回目終了後、そのまま2回目にも



絵本の内容にあわせて…

参加する方が多く、本の紹介時には熱心にメモを取る保護者の姿も見られ、親子にとって素敵な本に出会える貴重な場になっています。

毎回、参加しているという2歳児連れの家族は、「毎月ここで紹介された本をメモして図書館で借りています。今では、会の終了間際になると寂しくて号泣する程、娘が絵本を好きになりました。」と笑顔で話します。一方、金毘羅縁日に初めて訪れ、偶然おはなし会があることを知り参加した親子は、「縁日と同日の開催なので、大人も子どもも両方楽しめる要素があっています。」と感想を述べていました。



お話を夢中の子どもたち



この日、紹介された本

ユウカリ文庫と地域文庫連絡会の会長を兼任する内藤達子さんは、昔、文庫に通っていた子ども達が、成人になっても挨拶をしてくれることを例にあげ、「文庫を通して地域の子どもの成長を見守り、その人にとっての特別な一冊に出会えるよう、読書の魅力を伝える活動を地道に続けていきたい」と話します。また、子ども達にとって自然に触れることも大切で、葉の色や季節の匂いなど、四季折々の自然を体感することで、絵本の中の楽しさにスッと入ることができ、大人になってもファンタジーに身を委ねることができる心豊かな人になって欲しいと願います。

設立40年の今年は、文庫連がテーマごとに推奨する赤ちゃんや幼児のブックリストを作成。また、建て替えられる佐倉図書館の完成時には、記念講演会を計画しています。絵本選びに悩む方や興味のある方は、「金毘羅おはなし会」に足を運んでみませんか！



「金毘羅おはなし会」を担当したメンバー

- 金毘羅おはなし会**
- 日 時 毎月10日10:30～ / 11:15～
  - 内 容 絵本の読み聞かせ、本の紹介、手遊びなど
  - 料 金 入場無料
  - 会 場 佐倉市立美術館4階  
(10日が月曜日の場合は佐倉教会で開催)
  - 問合せ 佐倉地域文庫連絡会  
☎043-461-5559(会長 内藤さん)

佐倉市交通安全母の会は平成7年に発足し、発足当時から変わらない「交通安全は家庭から」を基本理念に活動を続け、現在会員40名ほどで様々な事業に取り組んでいます。

1年を通して手作りをしている交通安全のお守りは、チューリップや犬などの形にして1300個程度作り、成田山で交通安全祈願をしたのち、新学期の始まりに市内幼稚園児に配布しています。

「アクション10」と言われる毎月10日の交通安全の日をはじめ、春夏秋冬の交通安全運動の時は、佐倉警察署、佐倉市教育委員会、佐倉交通安全協会などの交通安全関係団体とともに、交通安全啓発活動で市内の交差点などの街頭に立ち、交通安全意識の高揚と交通事故防止をよびかけ、自動車運転者や歩行者にチラシや啓発物を配布して啓発活動を行っています。時に、事故が多発した場合、急に頼まれ、街頭に立って活動することもあります。



運転者へ啓発物の配布



活動に参加したメンバー

また新学期になると、市内各小中学校で行われている交通安全移動教室に参加し、先生方、警察署、関係機関の方々と一緒に交通安全の大切さを子どもたちに伝えています。

さらに、交通安全啓発活動の一環として、佐倉オリジナルの佐倉交通安全音頭(佐倉安協音頭)で市内の各地域のお祭りや千葉県県の民大会などに参加しています。

そして、今年1月12日佐倉市民音楽ホールにて「社会福祉・交通遺児チャリティーショー」を行いました。このショーは平成6年に佐倉市交通安全母の会発足15周年を記念し行われ、以後1年に1～2回佐倉市民音楽ホールや中央公民館などで開催、通算で40回を超えています。この日のチャリティー募金は、佐倉市社会福祉協議会を通じて交通遺児支援などに活用されています。

代表の三浦さんは佐倉市交通安全母の会会長、千葉県交通安全母の会連合会副会長、佐倉市交通安全対策協議会委員をつとめ、昨年度は千葉県文化功労章を受章しました。

全国規模で活動がある交通安全母の会ですが、佐倉市交通安全母の会は、この佐倉市を中心に成田市、八街市、四街道市など近隣地域の行政、教育委員会、警察との連携も図り、「命の大切さ・尊さ」を伝え、「命をまもる活動」を行っています。「当会はとてもまとまりがあり、皆さん協力的です。」と三浦さんははつらつと笑顔で語りました。

